

## 福島県高校生等「奨学給付金」申請のご案内

福島県教育委員会では、授業料以外の教育費負担を軽減するため、**非課税世帯や生活保護受給世帯**の方に奨学給付金を給付します。

### 制度の概要

「返還不要」です。



#### ◆ 対象となる世帯

令和2年7月1日(基準日)現在、次の①~③のすべてに該当する世帯

##### ① 保護者等が福島県内に住所を有すること

※ 「保護者等」とは、「親権者・未成年後見人のない場合の主たる生計維持者を含む」という意味です。  
※ 保護者等の住所が福島県外にある場合、その都道府県へ申請することになります。

##### ② 保護者等全員の道府県民税所得割及び市町村民税所得割(令和2年度)が非課税であること

又は生活保護受給世帯であること

※ 両親がいる場合、父母それぞれ所得割非課税であることが必要です。

##### ③ 生徒が平成26年度以降に就学支援金対象校に入学し、就学支援金の受給資格を有する者

(又は、学び直し支援金の対象者)であり、基準日に在学していること

※ 対象校:高等学校、高専(1~3学年)、専修学校高等課程、高等学校等専攻科等

#### ◆ 生徒一人当たりの給付額(年額)

給付区分	対象	課程等	生徒の状況	国公立	私立	必要書類
1. 生活保護受給世帯	生活保護(生業扶助)を受給している世帯	専攻科以外		32,300円	52,600円	裏面A
		専攻科		36,500円	38,100円	
2. 所得割非課税世帯	道府県民税所得割及び市町村民税所得割が非課税である世帯(1を除く)	通信制及び専攻科以外	第1子	84,000円	103,500円	裏面B
		通信制及び専攻科	第2子以降(★)	129,700円	138,000円	
				36,500円	38,100円	裏面B

★「第2子以降」とは、保護者等に扶養されているア~エいずれかの兄弟姉妹がいる生徒

ア 15歳(中学生を除く)以上23歳未満の兄・姉

イ 通信制の高等学校等に通う弟・妹

ウ 15歳(中学生を除く)以上23歳未満の奨学給付金の対象とならない弟・妹

エ 高等学校等に通う23歳以上の兄・姉

#### ※前倒し給付を申請された方へ

残りの給付額を給付しますので、忘れずに今回も申請してください。

### 申請手続等

#### ◆ 申請方法・提出先

申請書に必要書類(※裏面参照)を添えて、在学する学校に提出してください。  
(申請書は高校教育課ホームページからダウンロードすることもできます。)

#### ◆ 提出期限

令和2年 7月 20 日(月) ※学校の指定する日

#### 注意事項

- 給付を受けるには**毎年、申請手続が必要**です。
- 対象生徒が2人以上いる場合、**それぞれの生徒ごとに申請が必要**です。
- 高等学校等就学支援金とは別の手続となりますので、忘れずに奨学給付金の申請もしてください。



#### 【お問合せ先】

湯本高等学校

(電話:0246-42-2178)

又は福島県教育庁高校教育課 奨学給付金担当

〒960-8688 福島市杉妻町2-16 電話024-521-7775

メールアドレス k.koukoukyouiku@pref.fukushima.lg.jp

福島県奨学給付金

検索

## <「奨学給付金」必要書類等 確認チャート>※1~3は下段の説明をお読みください。

保護者等の住所は福島県ですか？(7月1日現在)※1

保護者等の住所のある都道府県へご相談ください。

は  
い

いいえ

生徒は平成26年度以降に高等学校等に入学し、1~3年に在学していますか？(7月1日現在)※

給付金を受給することはできません。

(注)7月1日現在、休学中の場合も給付対象外ですが、10月1日までに復学した場合は対象になります。

は  
い

いいえ

生活保護(生業扶助)を受けていますか？(7月1日現在)※1

《必要書類》

- ①「給付申請書」(様式第1号その1)
- ②生活保護受給証明書(福祉事務所が7月1日(※1)以降に発行した【生業扶助】の記載があるもの)※2
- ③口座振替による支払申出書(通帳のコピー貼付)※3
- ④個人対象要件証明書(専攻科生徒のみ)

A

給付金を受給することはできません。

※家計が急変した場合は、家計急変世帯向け奨学給付金を受給できる可能性があります。詳しくは家計急変世帯向けの案内をご確認ください。

保護者等の令和2年度道府県民税所得割及び市町村民税所得割が全員「非課税(0~99円)」ですか？

(減免がある場合は減免後の額)

《必要書類》

- ①「給付申請書」(様式第1号その1)
- ②令和2年度課税証明書等(市町村発行)(父母それぞれの証明書が必要)※2
- ③口座振替による支払申出書(通帳のコピー貼付)※3

B

(申請者が未成年後見人の場合は、

④選任審判書謄本のコピー等)

(保護者がいない場合(申請者・主たる生計維持者)は、  
⑤生徒本人の健康保険証のコピー)  
⑥個人対象要件証明書(専攻科生徒のみ)

通信制または専攻科の生徒ですか？

《必要書類》

- ①「給付申請書」(様式第1号その1)
- ②令和2年度課税証明書等(市町村発行)(父母それぞれの証明書が必要)※2
- ③口座振替による支払申出書(通帳のコピー貼付)※3
- ④健康保険証のコピー  
(生徒本人分 + 左記ア～エの分)

C

(申請者が未成年後見人の場合は、

⑤選任審判書謄本のコピー等)

⑥個人対象要件証明書(専攻科生徒のみ)

保護者等に扶養されている次のいずれかの方がいますか？(7月1日現在)※1

ア 15歳(中学生を除く)以上  
23歳未満の兄・姉

イ 通信制の高等学校等に通う  
弟・妹

ウ 15歳(中学生を除く)以上  
23歳未満の奨学給付金の  
対象とならない弟・妹

エ 高等学校等に通う23歳以上  
の兄・姉

※1 秋入学の生徒は基準日が「入学日」になります。

※2 生活保護受給証明書(「生業扶助」の記載がある7月1日以降発行のもの)又は課税証明書等は、就学支援金の申請に使用したもののかopyで構いません。

ただし、控除対象配偶者になっている保護者についても、課税証明書等の提出が必要です。

※3 奨学給付金を受領する口座は、「申請者」名義の口座にしてください。

通帳コピーは、金融機関名・店舗名・預金種別・口座番号・口座名義人(カナ)がわかる部分を付けてください。

過去に給付を受けている場合は、そのときと同じ口座としてください。(この場合、通帳コピーは不要)

□ 提出書類には重要な個人情報が含まれますので、書類の紛失や情報流出のないよう、氏名を明記した封筒等に入れ、のり付けした上で提出するようご協力ください。

□ 授業料以外の教育費(教材費、学用品費、修学旅行費等)を支援する制度です。目的をふまえて使用してください。  
学校への委任状を提出することで、申請者の方が負担する各種教育関係経費と相殺することも可能です。